

経済産業省フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金中間報告

実証事業の進捗報告

No. 10 産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの
ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

テーマ

産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

背景

【需要】

時代の変化

- 産～育児において“**他者の支援を頼れない**”女性が増加
- 女性の出産による**キャリアの停止は依然多数**
- パートナーとの知識量や温度感のギャップから**パートナーとの関係性の悪化へと繋がりがやすい**

【供給へのアクセス】

供給の不足

- 産後ケア事業が努力義務化されたが、**導入自治体は未だ少数**
- さらに、家族の支援が得られない、経済的援助を必要とする住民の入所を優先するなど対象が絞られ**宿泊型産後ケア施設の利用率はわずか0.88%**

【供給の内容】

必要な支援・ 安全の両立不足

- 行政事業委託型**は、対象が限定的かつ産婦のメンタルケアなど**ソフト面の支援が弱い**
- 民間型**は、高額な費用に加え、民間資格取得者中心の運営など**安全面の課題が存在**

目的

“**専門的知識に基づいた宿泊型産後ケアサービス**”及びその後の**継続的なサポート**の提供が、働く女性の健康課題を解決し、ウェルビーイングの向上、キャリアとライフイベントの両立の実現に有効であることを検証

事業計画内容（実施事項）と進捗

- 実施事項1は、宿泊型産後ケアサービスの利用者、またそのうち継続的なサポートモニター利用者へのアンケート調査で成果を測定。
 - 現在、継続的なサポートのモニター実証開始に向けてアンケート最終調整中
 - 継続的なサポートの準備（体制・システム）は概ね整備完了
- 実施事項2は、オンラインでのアンケート調査及びデスクトップ調査、当該取組の広報活動の結果から成果を測定。
 - SNS発信の内容・キーワードについて検討中
 - 市場ニーズ調査は手法について外注先と調整中

実施事項(大項目)	実施事項(小項目)	実施状況計画値
1. 女性のQOL向上における 宿泊型産後ケアサービスおよび 継続的なサポートの有用性検証	1.1 宿泊型産後ケアサービスおよび その後の継続的なサポートの有用性調査	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なサポートモニター利用者数 目標50名 ・アンケート回収数 目標30名
	1.2 顧客満足度調査（NPS）の実施による 満足度測定	<ul style="list-style-type: none"> ・NPSスコア9.2以上 (設問及び具体的な数値は今後設定)
2. 業界トップランナーとしての 産後ケアの社会認知度向上	2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含	<ul style="list-style-type: none"> ・利用意向度5pt増 (数値は今後設定、サンプル数は300～500程度を想定)
	2.2 検索キーワードモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・検索ボリューム150%増 (キーワード及び具体的な数値は今後設定)
	2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・インプレッション数100万件 (具体的な数値は今後設定)

事業を実施してきて分かってきたこと

- 継続的なサポートに対するニーズ・期待の高さ
 - 宿泊型産後ケアサービスの入所前アンケートでモニター参加希望を聴取したところ、**80%以上がモニター参加を希望（アンケート対象数48、うちモニター希望が37）**。
 - 宿泊型産後ケアサービスの利用者は、出産後に産後ケアサービスの利用をしていることも踏まえ、帰宅後もサポートを求めている場合が多い可能性が高い。
- 宿泊型産後ケアサービスのニーズの高さ
 - HOTEL CAFUNEは**5月の開業以来、高い稼働率を継続的に維持**。追加の広報施策等をせずとも、サービスの存在を知って利用してくださる方が多数存在。
 - これまで都心からアクセスのよい場所に類似サービスがなかったため比較ができなかったが、宿泊型産後ケアサービスに一定のニーズがあることが判明。

事業を実施して分かってきた課題

- 宿泊型産後ケアサービスの維持・拡大と継続的なモニター実証の並行
 - 宿泊型産後ケアサービスは現在維持・拡大に向けて実証とは別途進行中。
 - 今回実証する継続的なモニターのサービスにおいては、
宿泊型産後ケアサービスの際と同じ助産師・保育士によるサポートが重要なポイント。
 - オンライン相談・面談システムの構築よりも、
現行サービスと並行して実証を行う
体制構築の調整に時間を要した。

事業計画内容（実施事項）と今後の予定

- 実施事項1は、宿泊型産後ケアサービスの利用者、またそのうち継続的なサポートモニター利用者へのアンケート調査で成果を測定。
 - アンケート内容の精査が終了次第（～11月末）、実証開始
 - 1月まで実証を実施、実証前後で参加者にアンケートを行い効果を測定。
- 実施事項2は、オンラインでのアンケート調査及びデスクトップ調査、当該取組の広報活動の結果から成果を測定。
 - SNS発信の内容・キーワードについて検討中
 - 市場ニーズ調査は手法について外注先と調整し、キーワードモニタリングと共に11月中開始を予定。

実施事項(大項目)	実施事項(小項目)	実施状況計画値
1. 女性のQOL向上における 宿泊型産後ケアサービスおよび 継続的なサポートの有用性検証	1.1 宿泊型産後ケアサービスおよび その後の継続的なサポートの有用性調査	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なサポートモニター利用者数 目標50名 ・アンケート回収数 目標30名
	1.2 顧客満足度調査（NPS）の実施による 満足度測定	<ul style="list-style-type: none"> ・NPSスコア9.2以上 (設問及び具体的な数値は今後設定)
2. 業界トップランナーとしての 産後ケアの社会認知度向上	2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含	<ul style="list-style-type: none"> ・利用意向度5pt増 (数値は今後設定、サンプル数は300～500程度を想定)
	2.2 検索キーワードモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・検索ボリューム150%増 (キーワード及び具体的な数値は今後設定)
	2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・インプレッション数100万件 (具体的な数値は今後設定)